

◎インドネシア共和国に対する事業計画借款の供与に関する  
日本国政府とインドネシア共和国政府との間の取極の修正  
に関する交換公文

(略称) インドネシアとの事業計画借款取極の修正取極

昭和五十年 六月十日 東京で  
昭和五十年 六月十日 効力発生  
昭和五十年 六月二十四日 告示

(外務省告示第一二六号)

目次

ページ

インドネシア側書簡	三〇七
1 一九七二年七月二十四日付けの交換公文2(2)にいう借款の対象の修正	三〇七
2 一九七三年七月二十七日付けの交換公文4(2)にいう借款の対象の修正	三〇七
日本側書簡	三〇九

インドネシアとの事業計画借款取極の修正取極

(インドネシア共和国に対する事業計画借款の供与に関する日本国政府とインドネシア共和国政府との間の取極の修正に関する交換公文)

(インドネシア側書簡)

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本使は、インドネシア共和国に供与された一定の円借款の使用に関してインドネシア共和国政府の代表者と日本国政府の代表者との間で最近行われた討議に言及するとともに、次のことがインドネシア共和国政府の了解であることを確認する光榮を有します。

1 千九百六十九年七月四日付けの附属交換公文、千九百七十年六月二十三日付けの附属交換公文及び千九百七十年六月三十日付けの附属交換公文に関して行われた千九百七十二年七月二十四日付けの交換公文の2(2)及び他の関係の規定に基づき、海外経済協力基金が供与する十八億円(一、八〇〇、〇〇〇、〇〇〇円)の額までの借款に関し、同借款が千九百七十年の援助の対象として取り上げられる事業計画に対する融資のために使用されることに日本国政府は異存がない。

2 千九百六十九年七月四日付けの附属交換公文、千九百七十年六月二十三日付けの附属交換公文、千九百七十年六月三十日付けの附属交換公文及び千九百七十二年七月二十四日付けの附属交換公文に関して行われた千九百七十二年七月二十七日付けの交換公文4(2)及び他の関係の規定に基づき、海外

(Indonesian Note)

Tokyo, June 10, 1975

Excellency,

I have the honour to refer to the recent discussion held between the representatives of the Government of the Republic of Indonesia and of the Government of Japan concerning the utilization of certain yen loans extended to the Republic of Indonesia, and to confirm that the following is the understanding of the Government of the Republic of Indonesia:

1. With reference to the loan up to the amount of one billion eight hundred million yen (¥1,800,000,000) to be extended by the Overseas Economic Cooperation Fund under paragraph 2(2) and other relevant provisions of the Exchange of Notes dated July 24, 1972 effected with reference to the Exchange of Letters dated July 4, 1969, the Exchange of Letters dated June 23, 1970 and the Exchange of Letters dated June 30, 1971, the Government of Japan has no objection to the said loan being used to finance the projects to be taken up under the 1970 assistance.

2. With reference to the loan up to the amount of one billion yen (¥1,000,000,000) to be extended by the Overseas Economic Cooperation Fund under paragraph 4(2) and other relevant provisions of the Exchange of Notes dated July 27, 1973 effected with reference to the Exchange of Letters dated July 4, 1969, the Exchange of Letters dated June 23, 1970, the

簡シイ  
アンド  
側ド  
書ネ

の款に公け十一年一  
修のい文の七七九  
正対う2交日月七  
象借(2)換付二

の款に公け十一年一  
修のい文の七七九  
正対う4交日月七  
象借(2)換付二

インドネシアとの事業計画借款取極の修正取極

三〇八

経済協力基金が供与する十億円（一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇円）の額までの借款に関し、同借款が千九百七十二年の援助の対象として取り上げられる事業計画に対する融資のために使用されることに日本国政府は異存がない。

本使は、閣下が、前記のことが日本国政府の了解でもあることを確認されれば幸いであります。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

千九百七十五年六月十日に東京で

インドネシア共和国

特命全権大使ユスフ・ラムリ

外務大臣 宮澤喜一閣下

Exchange of Letters dated June 30, 1971, and the Exchange of Letters dated July 24, 1972, the Government of Japan has no objection to the said loan being used to finance the projects to be taken up under the 1972 assistance.

I should be grateful if Your Excellency would confirm that the foregoing is also the understanding of the Government of Japan.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Jusuf Ramlı  
Ambassador Extraordinary and  
Plenipotentiary of the Republic  
of Indonesia

His Excellency  
Mr. Kiichi Miyazawa  
Minister for Foreign Affairs

(日本側書簡)

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

インドネシア側書簡

本大臣は、更に、前記のことが日本国政府の了解でもあることを確認する光栄を有します。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百七十五年六月十日に東京で

外務大臣に代わつて

経済協力局長 鹿取泰衛

インドネシア共和国

特命全権大使 ユスフ・ラムリ閣下

インドネシアとの事業計画借款取極の修正取極

(Japanese Note)

Tokyo, June 10, 1975

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Indonesian Note)"

I have further the honour to confirm that the foregoing is also the understanding of the Government of Japan.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

For the Minister for Foreign Affairs:

(Signed) Yasue Katori  
Director-General of  
the Economic Cooperation Bureau

His Excellency  
Major General Jusui Ramli  
Ambassador Extraordinary and  
Plenipotentiary of the Republic  
of Indonesia

(参 考)

この取極は、一九七二年七月二十四日付けの交換公文の2(2)にいう借款を一九七〇年の援助の対象として取り上げられる事業計画に使用すること及び一九七三年七月二十七日付けの交換公文4(2)にいう借款を一九七二年の援助の対象として取り上げられる事業計画に使用することについての日本国政府とインドネシア共和国政府との間の了解を確認したものである。